

中高生、おとなクラス ステップアップ説明会

2023年2月12日 14:00 ~ 14:30

本日のメニュー

—
1/中学生になると

2/新高校入試について

3/今までのJr.クラスと中高生・おとなクラスの違い

4/中高生クラスについて

5/おとなクラスについて

6/質問コーナー

1/中学生になると



中学生になると



定期試験



中学生になると

2/新高校入試

について

令和5年度入学者選抜から

令和2年度の中学1年生が受検する入学者選抜から

広島県の公立高等学校の 入学者選抜制度が変わります



15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力を育むために

変化の激しいこれからの社会では、子供たちが自ら考え、自分たちの答えを導き出していく力を学んでいくことが不可欠であり、自己実現を図っていくための基礎を義務教育段階で培っていくことが大切です。

これまで本県で取り組んできている「学びの姿華」を実施することによって、「自己を認識する力」「自分の人生を選択する力」「表現する力」が身に付けてくるものと考えています。

広島県教育委員会は、「**広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力**」としてこれらの力を設定し、公立高等学校入学希望者の「自己表現」において、どのくらい身に付けているのかを評価することとしています。

これらの力は、中学校3年生で突然身に付くものではありません。小学校段階から（強いて言えば乳幼児期から）、自分の考えをしっかりと持たせ、先生や友達と心を繋いで得てもらうこと（自己顕示）ができる環境の中で、**意図的・計画的**に育んでいきましょう。一番大切なことは自己顕示できる安全・安心な環境と信頼関係です。

このリーフレットでは、それぞれの力を各どの場面で育てることができるのか、各中学校で考えるための要素として紹介しています。



- **自己を認識する力**
- **自分の人生を選択する力**
- **表現する力**

「キャリア教育」の視点で

認識する力

- 行事や普段の生活の中で、生徒の夢の実現に向けた「心に寄り添った進路指導」を心掛け、生徒の自己決定感を伸ばしていく。
- 産業界の外部講師による「出前授業」を実施する等、地域社会や企業でも「学校での学び」が活用されていることを生徒が実感できる機会を設ける。
- 職業体験学習では、リーフレット等により、受入れ先の企業・事業所等の方と生徒に身に付けさせたい資質・能力を共有し、企業・事業所等の社会的な使命等を伝えてもらえるよう連携する。

選択する力

- 自ら職業調べをしたり、高校訪問等をしたりする等、進路の選択に係る情報について、実際に自分で確かめるよう働きかける。
- 「私のキャリアノート」等を活用して、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う。



表現する力

- 職業体験学習の受入れ先の企業・事業所等の方に面接官をお願いして面接練習を実施する等、見知らぬ大人（社会で活躍する教職員以外の職業人）の前で自分の考えを堂々と述べる機会を、意図的・計画的に設ける。

「生徒指導の三機能」を生かして

認識する力 選択する力 表現する力

- 教師と生徒及び生徒間の信頼関係を築き、安全・安心な環境づくりを行うことのために、様々な教育活動において生徒指導の三機能を生かす。
- 自己実現を図るために、「共感的人間関係を育成する」「自己存在感を与える（信頼関係）をベースに、「自己決定の場を与える」ことを通じて、自己指導能力を育成する。



「教科等の授業」の場面で

認識する力 選択する力 表現する力

- 生徒が、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、「深い学び」に向かうよう、授業中の「問い」を見直ししたり、パフォーマンス課題を設定したりする等、単元計画を改善する。
- 「課題発見・解決学習」をはじめとした、生徒の「主体的な学び（学習者基盤の能動的な深い学び）」を促す授業改善に積極的に取り組む。
- 総合的な学習の時間では、探究的な学習の過程の「課題の設定」において、例えば、実際の体験活動を通して考えさせる等、生徒にとって「自分ごと」になるように課題を設定させる（課題の解決を通して、自己の生き方や将来について考え、自分のよさや可能性に気付いていくことが重要）。



表現する力

- 学習指導要領の諸言を踏まえたい学習評価の改善を進める。例えば、レポートの作成、発表、作品の制作等の多様な活動を取り入れたり、それらを集めたポートフォリオを活用したりする等、自分の学習してきたことや身に付けた学びを自己評価し、さらに自分の学習方法を改善していくサイクルを取り入れる。
- ライフプランニングの観点で、生徒自身が、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用し、自分の生き方を考える機会を設ける。（例）技術・家庭（家庭分野）一自らの衣食住、家庭生活、消費生活の在り方について考える。

選択する力

- 発展的な学習場面で、「あなたはどうしたいのか」と常に問いかけ、自己の学習進度や興味・関心に応じて、学習内容等を選択させる。（例）国語…教科書教材での学びを活かし、自分で選んだ他の作品を味わう。数学…習熟のために利用する問題等の教材を、自ら選択し、組み合わせる。

表現する力

- 単元の確認テストや定期テストにおいて、複数の資料から情報を読み取り、自分の考えを表現する等の記述式の問題を出題する。
- 教師自身が、日頃から、正しい言葉を使って簡潔に分かりやすく話し、生徒に対して、目的や相手に応じて適切に話したり、書いたりするよう指導する。
- 各教科等の特質に応じた言語活動を充実させ、表現の力を計画的に育成する。（例）社会…社会での出来事等に対して、地図やグラフ等を根拠や理由として自らの考えをまとめ、資料を活用して説明する。理科…自らが立てた仮説を確かめるための実験方法や実験結果についての考察を友達に説明する。音楽（鑑賞領域）…「知覚したこと」と「感受したこと」を聞かせて、自分なりに評言とその根拠を述べる。
- 図書館リニューアルの取組等を参考に、学校図書館の環境整備を行うとともに、主体的な読書活動が充実するよう生徒会行事（ブックトークやビブリオバトル等）を工夫し、読書に親しむ学校文化をつくる。



「家庭学習の課題の提示」の場面で

認識する力 選択する力

- 授業以外の場面においても、学びの主体は子供たちであるという「学習者基盤」の意識をもって教育活動を推進する。
- 一つのアプローチが、必ずしも全ての生徒に効果的であるとは限らない。家庭学習の内容等を担当教員等が一方的に決定し指示するのではなく、例えば、生徒自身が、
 - ・ 家庭学習の内容と量
 - ・ 学習方法や提出方法
 - ・ 提出期間 等
 を設定する機会を設ける。



それぞれの力を身に付けさせるためには、何でも話すことができ、相談することができる（自己顕示）安全・安心な環境が欠かせません。



自己を**認識**し 自分の人生を**選択**し **表現**することができる力

「自己を認識する力」とは…

自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのかなど、自分自身のことを理解することができる力のことです。

こうした力を
身に付けるために

自分自身のことを理解しようとする
ことが大切です。そのためにも、普段
から自分自身のことや自分の意見などを
大切に、学校や家庭で、友達や先生、
家族などに素直に話すことに、積極的に
取り組みましょう。

「自分の人生を選択する力」とは…

自分の夢や目標、自分がやりたいことなどにつ
いて、自分で考え、選択し、自分の意志で決
めることができる力のことです。

こうした力を
身に付けるために

学校や家庭の様々な場面で、「自分
はどう考えるのか」「自分はどうしたい
のか」などを意識し、「自分で考え・選
び・決める」ことを習慣付けていくこと
が大切です。
自分が出した結論を大切にしながら、
様々なことに、積極的に取り組みましょう。

「表現する力」とは…

自分自身のことや自分の意見などを、相手に理
解してもらえらるるよう、相手や場面に応じて、言
葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝
えることができる力のことです。

こうした力を
身に付けるために

自分自身のことや自分の意見などを、
きちんと相手に伝えることができないと、
正しく理解してもらえないことや、誤解
を与えてしまうことがあります。
「自分の伝えたいことを相手にきち
んと伝えるには、どうしたらよいか」と
いうことを意識しながら、伝える内容や
方法、話し方などを工夫しましょう。

新しい入学者選抜制度のポイント

主体的に志望校を選択

各高等学校の学科・コースの特色に応じた入
学者選抜の充実を図り、中学生の一層の主体
的な学校選択を実現します。

全ての高等学校において、教育目標（スクールポリ
シー）や育てたい生徒像、入学者受入方針（アドミッ
ション・ポリシー）、入学者選抜の実施内容（実施す
る検査の項目や配点）などを事前に公表します。
受検生は、教育目標や入学者選抜の実施内容など
を事前に確認し、自分の進路の希望などに合った学校
や学科・コースを、自分で選択し、決定することが
できます。

検査書を集約化

調査書に記載する内容を簡潔にします。

受検生が送る中学校の校長が作成する調査書に記
載する内容を、選抜に必要な項目のみとします。



入学者選抜に係る期間を短縮

入学者選抜に係る期間を短縮し、各中学校・
高等学校の教育の充実を図ります。

入学者選抜に係る期間を短縮する
ことで、各中学校・高等学校にお
いて、授業や学校行事の始期を遅らす
など、これまで以上に教育活動を充
実することができるようになります。

一次選抜
2024年4月
15日(土)

二次選抜
2024年4月
22日(土)

受検生全員に「自己表現」を実施

受検生全員に自分自身のことを表現する自己
表現を実施します。

「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現すること
ができる力」が、どのくらい身に付いているのかを
みるため、受検生全員に自己表現を実施します。
自分自身のことや、高等学校に入校した後の目標
などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現して
もらいます。

新しく中学1年生になったみなさんへ

先生や友達に何でも話すことができ、相談することができる安全で安心な学校生活の中で、
みなさんは「自己を認識する力」や「自分の人生を選択する力」、「表現する力」を身に付け
ることができると思います。

みなさんは、自分の夢や目標を大切にしながら、「自分らしい」中学校生活を送ってください。

新しい入学者選抜制度の概要

入学者選抜の内容

入学者選抜実施内容シートについて

全ての高等学校で、教育目標（スクールポリシー）や育てたい生徒像、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、入学者選抜の実施内容を事前に公表します。



入学者選抜実施内容シートの見方は？

教育目標（スクールポリシー）は、その高等学校や学科・コースで、どのような教育活動を行っているのかを示したものです。育てたい生徒像は、その高等学校や学科・コースでの生活や教育活動を通じて、どのような生徒に育てたいのかを示したものです。入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、教育目標や育てたい生徒像を実現するために、どのような方針で入学者選抜を実施するのかを示したものです。

入学定員とは？

入学（合格）できる人数のことです。高等学校や学科・コースによって異なります。

個別配点とは？

特定の教科の配点を、他の教科より高く（または低く）することです。

学力検査の数学と理科が個別配点（配点を2倍）を実施する場合

例）

通常の配点（標準的）

国語 50点 社会 50点
数学 50点 理科 50点
外国語 50点 合計250点満点

「数学」「理科」の配点を2倍

国語 50点 社会 50点
数学 100点 理科 100点
外国語 50点 合計350点満点

入学者選抜実施内容シート

●●高等学校 ●●課程 ●●学科 []コース

項目	内容	備考
実施年度 (スクールポリシー)		
育てたい生徒像		
入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)		
入学定員		
学力検査の科目	●国語、社会、数学、理科、外国語・外国語	(学科・課程により異なります)
配点	●国語100点、社会50点、数学50点	
個別配点	●国語100点、社会50点、数学100点、理科100点	
試験科目	●国語、社会、数学、理科、外国語、外国語、英語、外国語・外国語	(学科・課程により異なります)
配点	●国語100点、社会50点、数学50点	
個別配点	●国語100点、社会50点、数学100点、理科100点	
学力検査の科目	●国語、社会、数学、理科、外国語、外国語、英語、外国語・外国語	(学科・課程により異なります)
配点	●国語100点、社会50点、数学100点、理科100点	
個別配点	●国語100点、社会50点、数学100点、理科100点	

図例点でのイメージです。
正式に決まり次第お知らせします。

学年間の比重 第1学年：第2学年：第3学年＝1：1：3とは？

調査書の第3学年の配点（満点）を3倍にすることです。

科目	満点
第1学年	9科目合計 34点（45点満点）
第2学年	9科目合計 35点（45点満点）
第3学年	9科目合計 37点（45点満点）
3学年合計	106点（135点満点）

学年間の比重をかけた後の満点

第1学年	9科目合計 34点（45点満点）
第2学年	9科目合計 35点（45点満点）
第3学年	9科目合計 111点（135点満点）
3学年合計	180点（225点満点）

この学年間の比重をかけた後の合計満点（180点）が調査書の満点となります。

学力検査、調査書、自己表現の比重 学力検査：調査書：自己表現＝6：2：2とは？

学力検査、調査書、自己表現の合計を100点として、学力検査の配点（満点）をもとに、調査書と自己表現の配点（満点）をそれぞれ2割で計算し算出することです。

科目	満点
学力検査	300点（1科目50点×3科目＝250点満点）
調査書	180点（225点満点）
自己表現	39点（60点満点の場合）
合計	419点（535点満点）

比重（6：2：2）をかけた後の満点

学力検査	48点（300点/250点×6/10×100）
調査書	36点（180点/225点×2/10×100）
自己表現	13点（39点/60点×2/10×100）
合計	77点（100点満点）

この比重をかけた後の合計満点（77点）が入学・合格・不合格を決定します。

一次選抜・二次選抜について

入学者選抜には、一次選抜（一次募集）と二次選抜（二次募集）があります。

一次選抜（一次募集）

全ての高等学校で実施します。

①学力検査、調査書、自己表現の3つの満点の合計点により、合格者を決定します。これらに加え、個別検査を実施する学科・コースもあります。その場合は、個別検査を含めた4つの満点の合計点により、合格者を決定します。

②選抜方式（合格者を決定する方法）は2通りあります。

【一般枠による選抜】

- 全ての学科・コースで統一して実施する選抜方式
- 入学定員の50%以上の合格者（例えば入学定員が200人の場合は100人以上の合格者）を決定します。

【特色枠による選抜】

- 学科・コースの特色が出る内容で実施する選抜方式
- 入学定員の50%以内で合格者を決定します。
- 特色枠による選抜を実施しない学科・コースもあります。

③特色枠による選抜を実施する学科・コースでは、次の①～④の中で、合格者を決定します。（2段階選抜）

- 全ての受験生の満点を特色枠による選抜の内容で換算し、換算後の満点により、合格者を決定します。
- 特色枠による選抜で合格とならなかった全ての受験生の満点を一般枠による選抜の内容で換算し、換算後の満点により、合格者を決定します。

④一般枠による選抜のみ実施する学科・コースでは、全ての受験生の満点を一般枠による選抜の内容で換算し、換算後の満点により、合格者を決定します。



★高校入試の配点はこちら！

6 : 2 : 2

学力試験

調査書

自己表現

学科試験と調査書が満点でも80%の得点にしかない。

つまり**自己表現**がポイントになる！

自己表現を行う生徒のみなさんへ

令和4年1月
広島県教育委員会

自己表現について

令和5年度公立高等学校等[※]入学者選抜（現在の中学2年生が受検する時）から、受検生全員に自分自身のことを表現する「自己表現」を行います。

この「自己表現」は、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」である

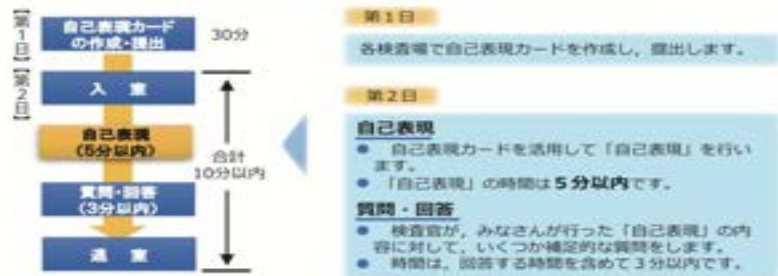
自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力

が、みなさんに、どのくらい身に付いているのかをみるために行うものです。

自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や、高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現してください。

※ 特別支援学校（職業コース以外の知的障害を除く）についても、高等学校に準じて「自己表現」を行います。

自己表現の流れ（一次選抜の場合）



自己表現カードについて

- 「自己表現」の内容を自分自身で整理するためのものです。
- 文章が上手に書けていることや、きれいに書けていること、文字数の多さなど、自己表現カード自体が評価されることはありません。
- 書く必要がない人は書かなくても構いません。

※ 第1日で作成した自己表現カードは、第2日の「自己表現」の実施前に、本人に写しが送付されます。

自己表現カード

基本的なガイドライン

行っても良いこと

みなさんが、一人で時間内に準備し、実施できることです。ただし、

- 検査場内で実施できないこと
- 他の受検生に影響があること
- 安全面で問題があること

は、行うことができません。

その場合は、事前に撮影した動画や写真を提示することもできます。

使用可能な物品について

みなさんが、一人で検査場まで持ち運ぶことができるもので、

- 安全面で問題がないもの
- 管理上問題がないもの

です。

もちろん何も使わなくても構いません。必要な場合に用意してください。



タブレット等の使用について

タブレット等を持ち込んで、資料や写真などを提示しながら「自己表現」を行うこともできます。

また、検査場内では実施できないことを事前に撮影し、検査当日にタブレット等を使用して動画や写真を提示することもできます。

※ ただし動画は30秒以内のものに限ります。

中学生のみなさんへ

「自己表現」は、自分自身のことについて、自分で選んだ方法で表現するものです。また、これまで先生が調査書に記載していた特別活動の記録や、スポーツ・文化・ボランティア活動等の記録などを、みなさんが、自分自身でアピールすることになっています。活動の実績そのものを評価する訳ではありませんので、みなさんの夢や目標を大切にしながら、「自分らしい」中学校生活を送ってください。

先生や友達に何でも話ことができ、相談できる安全で安心な学校生活の中で、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」を身に付けることができると思います。



教育長の
平川です



二次選抜（二次募集）

一次選抜（一次募集）の合格者が、入学定員に満たなかった学科・コースで実施します。

調査書と自己表現の得点の合計点により、合格者を決定します。これらに加え、独自検査を実施する学科・コースもあります。その場合は、独自検査を含めた3つの得点の合計点により、合格者を決定します。

■自己表現カード

自己表現カード

氏名

学年

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

調剤点でのイメージです。正式に決まり次第お知らせします。

選抜の方法

学力検査

基本は5教科各50点満点

学力検査は、中学校3年間で、どのくらい学力が身に付いているのかをみるため、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科で実施します。一部の学校では、教科の配点が異なる場合があります。

自分が受検する高等学校の「入学者選抜実施内容シート」で確認してください。なお、外国語（英語）の聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの力を総合的にみるための検査を実施することも検討します。

調査書

学年間の比重は、第1学年：第2学年：第3学年=1：1：3

調査書は、受検者が通う中学校の校長が作成し、受検する高等学校の校長に提出されるものです。受検生が自分で記入や提出することはありません。

調査書には、第1学年から第3学年までの学習の記録（評定）が、500語で記入されます。対象となる教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）の9教科です。

一部の学科・コースでは、特色种による調査で、教科の配点が異なる場合がありますので、自分が受検する高等学校の「入学者選抜実施内容シート」で確認してください。

学習の記録（評定）の学年間の比重は、「第1学年：第2学年：第3学年=1：1：3」です。これは、第3学年の評定（得点）を、3倍にするということです。

自己表現

「即読」方式で実施

自己表現は、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、どのくらい身に付いているのかをみるために実施します。

自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現します。

自己表現は「即読」方式により行います。礼儀作法や話し方などのテクニクもあるものではありません。受検生は全員、受検会場で「自己表現カード」を作成します。自己表現カードは、自己表現の補助的な資料で、文章が上手に書けている、文字数が多いなど、自己表現カード自体を評価することはありません。

独自検査

学科・コースによって独自の検査を追加

学科・コースによっては、特色に応じて、実技検査や作文などの独自検査を実施する場合があります。

自分が受検する学科・コースで、独自検査が実施されるかどうかは、「入学者選抜実施内容シート」で確認してください。

新しい入学選抜制度に関する



Q

入前で話すことが苦手です。「自己表現」で不利にならないですか。

A

「自己表現」は、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、受検生に、どのくらい身に付いているのかをみるために行うもので、話し方などのテクニクをみるものではありません。

「自己表現」では、自分の作品や書状などを持ち込むことも可能です。得意の方法を工夫しながら自分自身のことを表現してください。これからの3年間で、「自分自身のことを理解すること」や「自分で考え、選択し、自分の意志で決めること」、「相手に理解してもらえるように、工夫しながら伝えること」などの力が身に付くことで、自分の夢や目標を大切にしながら、様々なことに積極的に取り組んでください。

Q

「自己表現」で、書状やメダル、作品などを提出してもよいですか。

A

自分が取り組んできたことや頑張ってきたことを表現するために、書状やメダル、作品などを持ち込むことは可能ですが、書状やメダルを提出したら有利になる、作品を持ち込めば加点されるといったことはありません。

例えば、表彰された成績を控すまでに、どのように取り組んできたのか、これまでどのような苦労があったのかなどについて、相手にきちんと伝わるように、自分で選んだ言葉や方法で表現できるようにすることが大切です。

Q

なぜ、調査書の第3学年の学習の記録（評定）を3倍にするのですか。

A

高等学校入学選抜は、高等学校の教育を受けるために必要な力が身に付いているかどうかをみるために行います。このため、第3学年の時の力（到達度）をより評価するため、第3学年の評定を他の学年と比べて3倍とすることとしました。

1・2年生の時に、自分の力を十分に発揮していない場合でも、日々の授業や学習活動などを大切に、中学校卒業までに、しっかりと力を身に付けることができれば、自分が希望する進路を実現できると思います。

保護者・教員のみならず

子供たちが「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」を身に付け、発揮していくためには、子供たちが日々成長し続ける場である学校や家庭が、安全で安心な環境であることが大切だと考えています。広島県教育委員会では、全ての学校において、子供たち一人一人が自分の考えをしっかりと持ち、大切に、先生や友達に心を開いて何でも話ることができ、相談することができる雰囲気づくりを進めてまいりますので、御理解・御協力をお願いします。

3/今までのJr.クラスと中 高生・おとなクラスの違 い

Jr.クラスと中高・おとなクラスの違い

★自由度が増える

- 曜日、時間、教室、頻度、制作内容 →都合に合わせて自由に選べる
部活の試合、期末試験、1ヶ月お休み、翌月は週2回 etc...
- 中高生クラスはおとなクラスに振替もできる。
- 8月はサマースクールに振替も可能。
- スケッチツアーにも参加できる。

より 主体的に 通うことができる。

4/中高生クラスにつ いて

中高生クラスについて

場所: 西広島駅前教室

日時: 毎週土曜日 14時～17時 (Aクラス) 17時～20時 (Bクラス)

欠席の際は、A⇔Bクラスで振替。おとなクラスでも振替できます。

制作内容: 中高生実習・個別制作 (こどもクラスの取り組みをより深めた制作も行います)

いいところ: 同じ年頃のもみなで集まって制作。実習で多様な制作

春からやります！！「月一お楽しみレッスン」

こどもクラスの先生が月一で中高生クラスに出張。何をやるかはお楽しみ！

5/おとなクラスについて

おとなクラスについて

場所: 西広島駅前/五日市/安芸/安佐南/大塚/南

日時: 場所によって異なります。西広島は開講時間が長くオススメ!

持ち時間制。たとえば9時間コースなら、「毎週2時間15分ずつ」や「隔週4時間半ずつ」など、1ヶ月に自由に振分けできる!

制作内容: 個別制作(こどもクラスの取り組みをより深めた制作も行います)

いいところ: 学校や部活等の都合に合わせて出席、制作可能。時間をかけて制作できる。

中高生クラス

対象：中学生～高校生

土

西広島
【6名～8名】

Ⓐ 14:00～17:00

Ⓑ 17:00～20:00

A・Bは同内容です。月に一回程度「実習」を開催します。



おとなクラス

対象：中学生以上

★各曜日/時間帯によって、制作の可能な内容が異なります。内容をご確認の上、受講をお願いいたします。

おとなクラス専門教室

火

西広島
加藤

絵画/基礎/油絵/造形 13:00～21:30

土

天野

絵画/基礎/油絵/造形/陶芸 10:00～20:00

金

五日市
加藤

絵画/基礎/造形/彫刻/デザイン 18:00～21:00

五日市教室は市民文化センターでの開講となります。より専門的な学習をご希望の方は西広島駅前教室にお越しください。

こどもクラス併行授業教室 絵画・基礎・造形・油絵

		17時	18時	19時	20時	21時
火	安佐南 刀田				18:40～21:00	
水	安芸 浅原				18:40～21:00	
木	安佐南 宮藤				18:15～20:45	
	大塚 日興			17:40～19:40		
金	南 刀田				18:40～21:00	

今春より始めます 作品集作り (作品をまとめる取り組み)



2022年1月10日,17日 3時間くらい

冬のゆず ~三原色の観察画~

内容の説明：
赤、青、黄色の透明水彩
絵の具で混色をして、ゆ
ずの絵を描きました。

頑張ったところなどの説明：
はっぱがくるっと丸まっている
ところを頑張って表現しまし
た。ゆずの立体感をだすため
に、絵の具を混ぜましたが、美
味しくなさそうな色にならない
ように気をつけました。

作品が完成したら、作品の
画像を撮影し、「タイトル」
「内容の説明」「作品の頑
張ったところや感想」など
を記入します。

作品のまとめと、言語化の
練習を行います。

今春より始めます 個別制作メニュー表



パステル画

概要：
「パステル」というチョークのような画材でモチーフを描きます。モチーフは雑貨・野菜果物のほか、写真を見て風景等も描けます。しっかり指で磨り込むと重厚感や質感が表現できます。修正が容易で扱いやすい画材です。

制作時間の目安：
3時間～6時間くらい
(風景画は時間がかかります)

材料費：
パステルレンタル代 500円
モチーフ費
*教室の雑貨等/200円
*野菜果物/実費
*風景画/画像プリント代



「どんなことをしたらいいかわからない」

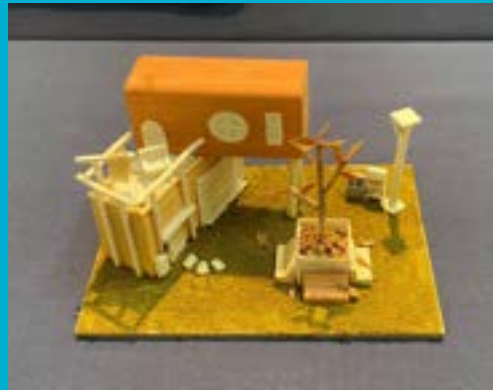
そんなときは、メニューから選択し、制作計画を立てられます。いくつか経験すれば、その後より発展した個別制作に取り組みやすくなります。

質問コーナー

-
- 美術を続けると、どんな仕事につけますか？

質問コーナー

- 絵を描くのが好きなので、できればずっと続けたいと思います。上手くなるためには、他にどんなことをするのが良いでしょうか？



ぜひ、中高生クラス、おとなクラスへ

見学・体験もできますよ。

(体験は材料費500円必要です)

変更届は3/15までにご提出ください。